

中学校第2学年 社会科学学習指導案

学習指導者 高松市立協和中学校 永井耀人

1. 単元名 「日本の諸地域 ―北海道地方―」

2. 単元計画（総時数 7時間【本時5/7】）

C 日本の様々な地域

(3)日本の諸地域

①自然環境を中核とした考察の仕方
「北海道地方」

先人たちの努力や工夫のもと厳しい自然環境に向き合い克服するとともに、その冷涼な気候と雄大な自然を生かして産業（農業・漁業・観光業など）を発展させることで魅力ある地域作りを行ってきた北海道地方

学習課題	① 地図や資料を利用して、北海道地方の特徴をとらえよう。
学習内容	国土の約4分の1を占める広大な土地を有する北海道地方は、都市や町が分散する「広域分散型社会」であり、日本で唯一の亜寒帯気候がもたらす「積雪寒冷地」でもある。
資料	・北海道地方の地勢図・日本全体から見た北海道地方の面積と人口の割合・北海道地方の2都市の雨温図 ・北海道地方の気候の特色

〈単元を貫く問い〉北海道地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているだろう。

学習課題	② なぜ、多くの人が北海道地方に訪れたいと思うのだろうか。
学習内容	北海道は毎年発表される都道府県魅力度ランキングで17年連続1位を獲得しており、国内外から多くの観光客を呼び寄せている。雄大な自然や歴史的景観を生かした魅力ある地域づくりが行われている。
資料	・都道府県魅力度ランキング2025・北海道を訪れる外国人観光客の出身国・地域別割合・北海道を訪れる日本人・外国人の月別観光客数・歴史的な建物や運河のある町並み（札幌・小樽・函館）・北海道の歴史年表

学習課題	③ なぜ、北海道地方は農作物の生産量1位の品目が多いのか。	学習課題	④ なぜ、北海道地方でとる水産物の種類が変化しているのだろうか。
学習内容	道内各地域では土壌や気候など厳しい自然条件を人々の努力や工夫によって乗り越えて、日本の一大食料生産地となっている。	学習内容	北海道周辺の海は豊かな漁場になっている。各国によって排他的経済水域が設定されるまでは北洋漁業、そして近年では他地域と同様に「育てる漁業」への転換が行われている。
資料	・主な農作物の全国生産に占める北海道の割合・北海道の農地面積の推移・北海道の土地利用図・大正時代の泥炭地の開発の様子・農家一戸あたりの耕地面積・酪農家一戸あたりの乳牛飼育頭数の比較	資料	・北海道の主な漁港・全国の漁獲量・漁業生産量と漁業就業者数・北海道でとれる水産物の変化・日本の漁業形態の変化・主な水産物の漁獲量・各国の制限海域

学習課題	⑤ どのような点から、北海道地方は「課題先進地」と呼ばれるのだろうか。（本時）
学習内容	北海道地方は、多くの魅力を有している反面、人口減少や過疎化、少子高齢化が全国よりも速いスピードで進み、主要産業である農林水産業の担い手が減少することで道内の経済活動が縮小するなど多くの課題を抱えている。
資料	・前時までの授業で使用した諸資料・北海道の鈴木直道知事のコメント・北海道と日本の総人口の変化 ・北海道全体に占める札幌市の人口割合・北海道の人口別割合の変化・全国と北海道の年少人口および高齢者人口の割合・北海道旅客鉄道廃線一覧

学習課題	⑥⑦ 北海道地方の地域的特色を、現地に暮らす人々の声やこれまでの授業での学習内容をもとにまとめよう。
学習内容	オンライン接続で北海道庁職員の方からお話を伺ったり、これまでの授業での学習内容を振り返ったりして、北海道地方の地域的特色をタブレットPC内の振り返りシート（skymenu）にまとめる。
資料	・北海道庁職員の方のお話・前時までの授業で使用したワークシートや諸資料 ・九州地方、中部地方、関東地方の各単元のまとめで使用した白地図プリント

3. 授業の見どころ

生徒がもっている既存の認識に矛盾が生じたり、一般的に知られている社会的事象に対して違和感をもったりするような「学びがいのある学習課題」を設定する。「振り返り」の場面では、前時の内容と関連させて、次時以降の学習の見通しをたてられるように指導する。

4. 本時の学習指導

(1) 目標

北海道地方は都道府県魅力度ランキングで17年連続1位を獲得するなど多くの魅力を有しているにもかかわらず、「課題先進地」と呼ばれる理由を複数の資料をもとに考察し、前時までの内容と関連させた振り返りを行うなかで次時以降の学習の見通しをもつことができる。

(2) 学習指導過程

学習内容及び学習活動	使用する資料	教師の指導・支援及び評価
1 北海道が「課題先進地」と呼ばれていることを確認する。	○前時までの振り返りワークシート ○北海道の鈴木直道知事のコメント	・生徒が興味・関心を持って授業に取り組むことができるようにプレゼンテーションを用いて導入を行う。
2 学習課題を設定する。	○生徒がもっている既存の認識との矛盾をつく導入から、生徒の思考をゆさぶり、学びがいのある学習課題を設定する。	・学習課題について考えやすくするために「課題先進地」の意味を紹介し、学習課題につなげる。
学習課題 どのような点から、北海道は「課題先進地」と呼ばれるのだろうか。		
3 学習課題についての予想を立てる。		・学習課題に対する答えが多面的・多角的な要因から成り立つものであることに気付くことができるよう、検証のためにどのような資料があればよいか生徒が考える場面を設ける。
4 予想を検証する。 (1) 各資料から分かることをワークシートに書き、発表する。 (2) 資料から見つけた情報をもとに、学習課題に対するキーワードを考える。 ①人口減少 ②少子高齢化 ③生産年齢人口の減少による経済活動の縮小 ④札幌市への一極集中	○北海道と日本の総人口の変化 ○北海道全体に占める札幌市の人口割合 ○北海道の人口別割合の変化 ○全国と北海道の年少人口・高齢者人口割合 ○北海道旅客鉄道廃線一覧	・資料をタブレットPCで配布し、予想を確かめるために必要だと考える資料を生徒自身に選択させる。 ・資料を通した自己との対話で生徒の思考力を育むために、まず個人で調べ、その後意見交換する手順を示す。
5 前時までの学習内容と関連させて、次時以降の学習の見通しを立てる。		・学習課題に対する答えを表現しやすくなるように、資料から調べた内容をキーワード化するよう助言する。
○前時までの生徒の考えと本時で調査した内容を関連させた振り返りを行うことで次時以降の学習につなげる。		・本時で考察した北海道の抱える課題が確かなものか検証するために北海道庁職員に質問するインタビュー内容を考え、振り返りシートに記入するよう助言する。
6 本時の振り返りをワークシートに記入する。		・考えの変容や深まりを比較できるように、単元を貫く問いも意識させ、振り返りを記入させる。

(3) 評価 資料をもとに北海道が抱える諸課題について考察し、前時までの内容と関連させた振り返りを行うことで次時以降の学習の見通しをもつことができているか。